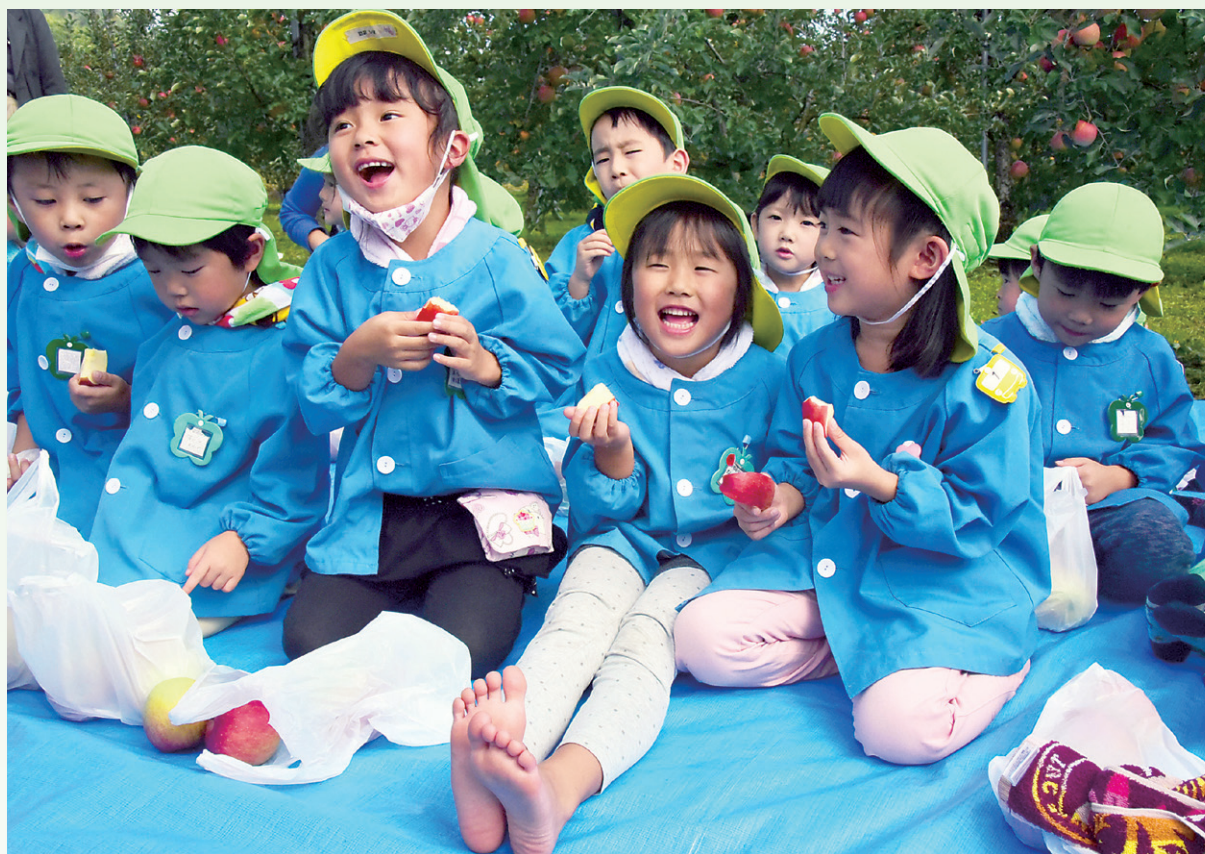


平成 31 年度

朝日町予算説明書



山形県朝日町

～ 目 次 ～

◎平成 31 年度 一般会計予算の概要	2
◎主な新規・重点施策（一般会計）	3
◎ // （病院事業会計・水道事業会計）	10
◎基本目標別主要施策	11
1. 技・モノ・心が受け継がれ、人が集まるまち（産業経済）	12
(1) 農業 (2) しごとの確保（商工業） (3) 交流・観光	
2. ふるさとを愛し、みんなが学び合い、育て合うまち（教育文化）	14
(1) 子育て (2) 学校教育 (3) 生涯学習（スポーツ・文化）	
3. いつまでも健康に暮らせる、思いやりあふれるまち（健康福祉）	16
(1) 健康増進 (2) 医療・福祉	
4. 豊かな自然を守り、安全で快適な住みよいまち（生活環境）	18
(1) 住まい (2) 交通 (3) 環境 (4) 防災	
5. 地域を思う一人ひとりがつながり、みんなで支え合うまち（地域づくり）	20
(1) 地域づくり活動 (2) まちのにぎわい・元気づくり	
■ 町民と行政が相互に信頼できるまち（まちの経営方針）	22
(1) 町民と行政の協働 (2) 行財政経営 (3) 高度情報化・広聴	
◎平成 31 年度 当初予算額(会計別総括表)	24
◎予算・決算等資料	25

平成 31 年度 一般会計予算の概要

「チャレンジ・つながり・希望 ～町民が活躍し笑顔あふれるまち～」

町民が主体となってチャレンジの輪がつながり、希望あふれる暮らしの実現のため、限られた財源の中にも創意と工夫を発揮し、第6次朝日町総合発展計画の基本計画に掲げた事業を着実に推進します。

「平成31年度実施計画基本方針」

第6次朝日町総合発展計画の2年目として、地域の将来に希望を抱き、その実現に向けて行動する人たちがたくさんいるまちをつくる。

【第6次朝日町総合発展計画を推進する5本の柱とまちの経営方針】

【予算額】

1 技・モノ・心が引き継がれ、人が集まるまち【産業経済】	3億9,550万円
(1) 農業 (2) しごとの確保(商工業) (3) 交流・観光	
2 ふるさとを愛し、みんなが学び合い、育て合うまち【教育文化】	8億8,886万円
(1) 子育て (2) 学校教育 (3) 生涯学習(スポーツ・文化)	
3 いつまでも健康に暮らせる、思いやりあふれるまち【健康福祉】	9億4,118万円
(1) 健康増進 (2) 医療・福祉	
4 豊かな自然を守り、安全で快適な住みよいまち【生活環境】	5億8,136万円
(1) 住まい (2) 交通 (3) 環境 (4) 防災	
5 地域を思う一人ひとりがつながり、みんなで支え合うまち【地域づくり】	5,507万円
(1) 地区づくり活動 (2) まちのにぎわい・元気づくり	
◆ 町民と行政が相互に信頼できるまち【まちの経営方針】	2億9,305万円
(1) 町民と行政の協働 (2) 行財政経営 (3) 高度情報化・広聴	

1. 予算規模 56億700万円

(平成30年度当初 50億6,200万円、比較増減 5億4,500万円、10.8%増)

2. 歳入について(一般財源)

	31年度	30年度比較増減		備 考
		額	率	
町税	5億5,272万円	803万円	1.5%	市町村交付金+868万円、町たばこ税▲200万円
地方交付税	24億4,000万円	2,000万円	0.8%	普通交付税+2,000万円
臨時財政対策債	2,800万円	▲9,200万円	▲76.7%	
財政調整基金繰入金	4億1,565万円	5,402万円	14.9%	
その他(譲与税、交付金他)	3億882万円	1,687万円	5.8%	森林環境譲与税+243万円、地方特例交付金+600万円
一般財源総額	37億4,520万円	692万円	0.2%	

平成 31 年度

主な新規・重点施策

平成 31 年度の新規・重点施策の中から、
一般会計 14 事業、企業会計 3 事業を紹介します。

町道一本松線整備事業

5,700 万円

財源…国の補助金 2,750 万円、町の借金 2,750 万円（防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債）、町の負担 200 万円（一般財源）

平成 32 年度まで、農道山田線（榎平の棚田第 2 展望台付近）に接続

【事業の概要】

能中地区の一本松公園は、町の花であるヒメサユリの群生地や農水省「日本棚田百選」の榎平の棚田を一望できるなど、町の貴重な観光資源の一つです。

しかしそのアクセスは県道長井大江線側からの一路線のみで袋小路となっているため、町は平成 22 年度以降、一本松公園から町道長根線に至る道路（町道一本松線）を新設し、周辺に点在する観光資源を一つのルートで結ぶ工事を進めています。30 年度は前年度決算の約 1.6 倍となる約 3,700 万円まで事業費を増額し、早期完成を目指してきました。

本ルートについては、観光道路の機能のほか、大規模災害時には、う回路としての役割も期待されることから、30 年度、国の新たな補助事業「防災・減災・国土強靱化のための 3 カ年緊急対策事業（※）」の対象路線に選定されました。国の補助金が増額される今後 3 年間、集中的に事業費を投入し、平成 32 年度まで農道山田線に接続します。



第 2 展望台からの眺望

◆防災・減災・国土強靱化のための 3 カ年緊急対策事業

近年における災害の激甚化を受け、国が特に緊急に実施すべき対策として、平成 30 年度から 3 年間重点的に予算付けするもの。河川、砂防等防災インフラの機能強化により被害の防止と最小化を、道路等の生活を支える重要インフラの機能強化により、災害時の避難や救助、交通ネットワークを確保するもの。町道一本松線のほか、三中線も事業採択されている。

（担当：建設水道課 整備係）



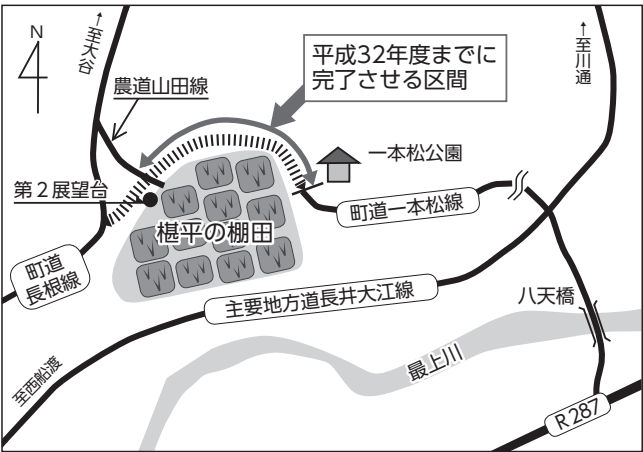
山肌を切り開く町道一本松線の工事

【参考】町道一本松線の事業費と国庫補助金額

（単位：万円）

	29 (決算)	30		31 (当初予算)
		(当初予算)	(補正予算)	
事業費総額	2,322	3,743	6,580	5,700
財源のうち 国庫補助金	1,135	877	3,190	2,750

防災・減災・国土強靱化のための 3 カ年緊急対策事業は平成 30 年度から 3 年間。一本松線については、平成 32 年度で農道山田線（榎平の棚田第 2 展望台付近）まで開通させる。※ 32 年度の事業費は未定。



創遊館大規模改修事業

2 億 1,035 万円

財源…町の借金 1 億 4,000 万円（過疎債）、町の負担 7,035 万円（町有施設整備・管理基金 6,145 万円、生涯学習振興基金 890 万円）

劣化診断に基づき、全館の空調設備を更新。燃料を灯油からガスに



創遊館で行われる文化事業

【事業の概要】

創遊館は平成 12 年の完成から約 20 年が経過し、経年劣化による故障や傷みが施設の各所に見られています。平成 29 年度に実施した施設の劣化診断において、特に空調設備に著しい劣化が見られたことから、町は 30 年度から更新に向けた準備を進めてきました。

今年度行う工事は、灯油燃料の設備をガス燃料に更新するもので、完成は 11 月頃を予定。一部ご不便をおかけする時期もありますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（担当：教育文化課 生涯学習係）

小中学校エアコン設置事業

1 億 9,440 万円

財源…町の借金 1 億 9,430 万円（過疎債）、町の負担 10 万円（一般財源）

町内小中学校の全教室に、寒冷地仕様の冷暖房エアコンを設置



エアコン設置で学習環境の向上が期待される

【事業の概要】

近年の猛暑を受け、町内小中学校の全教室に寒冷地仕様の冷暖房エアコンを設置します。安全安心な教育環境を構築し、学習意欲と学力の向上を図ります。

普通教室については夏場まで冷房を使える状態にし、その他の教室については暖房が必要な時期までに事業を完了させます。（既存の FF 式暖房器は撤去）

（担当：教育文化課 学校教育係）

※本事業については、平成 30 年度予算で全ての工事を実施する予定でしたが、事業を分割し、一部を 31 年度で実施します。事業費の総額 4 億 1,840 万円のうち、30 年度分…2 億 2,400 万円、31 年度分…1 億 9,440 万円

町道三中線改良事業

3,800 万円

財源…国の補助金 2,106 万円、町の借金 1,490 万円（防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債）、町の負担 204 万円（一般財源）

足かけ 10 年以上も、新たな国庫補助の採択を受け 32 年度で完了



町道三中線の工事

【事業の概要】

常盤地区と長沼地区を結ぶ町道三中線については、急こう配、幅員狭小により、冬期間、接触事故やスリップ事故が頻発していたことから、町は平成 21 年度から改良工事を進めてきました。

予算上、単年度の工事距離が限られていることから、時間を要していましたが、この度「防災・減災・国土強靱化のための 3 カ年緊急対策事業（4 ページ参照）」の採択を受けました。一本松線と同様に今後 3 年間、集中的に事業費を投入し、32 年度まで工事を完了させます。

（担当：建設水道課 整備係）

Asahi 自然観大規模改修事業

5,376 万円

財源…町の借金 1,190 万円（辺地債）、町の負担 4,186 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金 600 万円、町有施設整備・管理基金 3,586 万円）

総事業費 6 億 5,000 万円。ホテル、コテージ、リフト等の大規模改修に着手



来年度大規模改修が予定されるホテル自然観

【事業の概要】

平成 30 年度に策定した中期運営計画に基づき、31 年度から朝日自然観の大規模改修に着手します。期間は平成 36 年度までの 6 年間、事業費の総額は約 6 億 5,000 万円。ホテル、コテージ、および関連施設のリニューアルと合わせ、ゲレンデおよびリフトの再編による経営効率化を進めます。

31 年度はホテル自然観大規模改修の実施設計、リフトの修繕、大型草刈機の導入等を実施。観光施設としての魅力向上、経営の効率化等を図ります。

（担当：総合産業課 商工観光係）

防災備蓄倉庫整備事業

3,320 万円

財源…町の借金 3,320 万円（緊急防災・減災事業債）



防災備蓄品の水や食料

【事業の概要】

近年頻発する大規模災害に備え、水や非常食、毛布等の備蓄品を保管する倉庫を前田沢地内に整備します。（※既存の建物を撤去後整備）

◆施設概要

- ・構造…鉄骨造平屋建て
- ・延床面積…84㎡

（担当：総務課 危機管理係）

緑が丘公園遊具等設置事業

3,400 万円

財源…町の借金 3,400 万円（過疎債）



【事業の概要】

子育て世代からの要望を受け、緑が丘公園に遊具を設置します。

休憩スペースの東屋も設置。事業は 32 年度までの 2 カ年を予定し、30 年度に実施したトイレ改修と合わせて、公園の魅力アップ、子どもの遊び場の充実を図ります。

（担当：建設水道課 整備係）

防災行政無線機能強化事業

1,450 万円

財源…町の借金 1,450 万円（緊急防災・減災事業債）



防災行政無線の屋内ユーザー受信機

【事業の概要】

防災行政無線を通じた情報伝達の精度向上のため、現状、音声聞き取りにくい大谷七区内へ屋外拡声子局を増設します。

また、山間地域の高齢世帯のうち希望者に対し戸別受信機（100 台）を設置します。

（担当：総務課 危機管理係）

子育て支援医療費無料化事業

3,014 万円

財源…県の補助 639 万円、町の負担 2,375 万円（一般財源）



【事業の概要】

これまで実施してきた中学生以下の医療費無料化について対象範囲を高校生以下まで拡大し、子育て世帯のさらなる負担軽減を図ります。

（担当：健康福祉課 福祉子育て係）

風しん対策事業

260 万円

財源…国の補助 60 万円、町の負担 200 万円（一般財源）



【事業の概要】

風しんの感染拡大防止のため、予防接種が義務づけられていなかった特定の年齢層に対し、抗体検査及び予防接種の補助を実施します。（対象者には別途通知いたします）

（担当：健康福祉課 保健医療係）

低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業

4,670 万円

財源…国の補助 1,256 万円、町の負担 14 万円、その他 3,400 万円



【事業の概要】

消費税率の引上げに伴う経済対策として国の事業により、低所得者・子育て世帯（0～2歳児）を対象にプレミアム付商品券を発行します。

額面 5,000 円分を 4,000 円で購入でき、一人 2 万 5,000 円分まで購入可能です。（詳細は対象者へ個別に通知いたします）

（担当：総合産業課 商工観光係）

自動体外式除細動器(AED)配備事業 418万円

財源…国の補助 139 万円、町の負担 279 万円（一般財源）



AEDを使った心肺蘇生訓練

【事業の概要】

町消防団の各部等に対し、自動体外式除細動器（AED）を合計 18 台配備します。

AED がより身近になることで、各地域における心肺蘇生訓練のさらなる普及を図り、日常生活における救命率向上につなげます。

（担当：総務課 危機管理係）

自治公民館改修補助事業 2,200万円

財源…町の負担 2,200 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）



改修の様子（接待公民館）

【事業の概要】

大隅公民館の新築事業のほか、各公民館の屋根塗装、建物・トイレ修繕等を補助金で支援し、自治活動や地域における学び・生きがいを支援します。

（担当：教育文化課 生涯学習係）

大谷中央線消流雪溝整備事業 2,000万円

財源 … 町の借金 2,000 万円（過疎債）



消流雪溝が設置される町道大谷中央線（大谷三地内）

【事業の概要】

道幅が狭く傷みが著しい大谷三地内の町道大谷中央線の舗装を改修するとともに、側溝を消流雪化します。積雪期の安全確保と生活環境の向上を図ります。

（幅…3 m～4 m、延長…200 m）

（担当：建設水道課 整備係）

病院事業会計

町立病院内施設整備事業

1 億 9,440 万円

財源 …… 県の補助 8,300 万円、町（一般会計）の借金 5,570 万円（過疎債）、町（病院事業会計）の借金 5,570 万円（病院債）



拡張されるリハビリテーション室

【事業の概要】

病棟は昭和 60 年代の竣工から約 30 年が経過し、老朽化が進んでいます。病棟の空調設備等を更新するとともに、トイレや浴室等を改修し、施設の長寿命化と利便性向上を図ります。

また、リハビリテーション室を拡充して機器を増設し、機能強化を図ります。

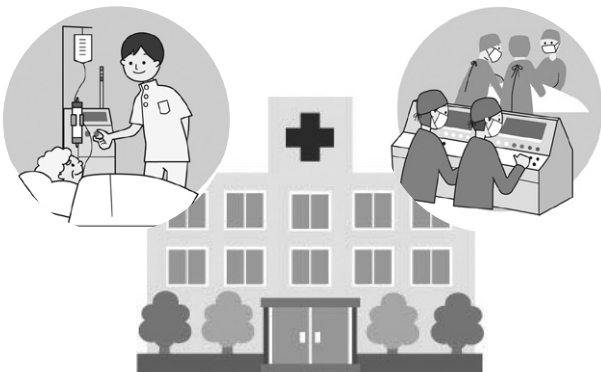
（担当：町立病院 医事庶務係）

病院事業会計

町立病院医療機器等整備事業

1,990 万円

財源 …… 県の補助 695 万円、町（病院事業会計）の借金 1,020 万円（病院債）、町の負担 275 万円（一般会計 137 万円、病院事業会計 138 万円）



【事業の概要】

必要性の高い医療機器等を計画的に更新・新規購入し、質の高い医療の提供に努めます。

（主な整備内容）

- ・自動分析装置 970 万円
- ・人工呼吸器 223 万円
- ・低周波治療器 83 万円 ほか

（担当：町立病院 医事庶務係）

水道事業会計

水道管の耐震化・長寿命化

4,000 万円

財源 …… 町の負担 4,000 万円（水道事業会計）



水道管の更新工事

【事業の概要】

町水道は昭和 40 年代の事業開始から 50 年以上経過しています。管の老朽化により漏水が起きやすくなっていることから、年次計画により、毎年強度のある管（地震に強い耐震管など）への更新を行っています。31 年度は、宮宿、古槇、大滝地内について更新を行います。（※工事箇所は変更になる場合があります）

（担当：建設水道課 上下水道係）

平成 31 年度

基本目標別主要施策

平成 31 年度の主な施策・予算を、第 6 次朝日町総合発展計画で掲げる 5 つの基本目標と、それを実現させるための「まちの経営方針」に沿って紹介いたします。

1. 技・モノ・心が受け継がれ、人が集まる



海外の高級百貨店における販促会

りんご輸出拡大対策補助

330 万円

財源…国の補助 85 万円、町の負担 245 万円(日本一りんごのふるさとづくり基金 160 万円、一般財源 85 万円)

朝日町のりんごは海外での評価が高く、台湾、タイ、マレーシアなど、複数の市場に向けて、シナノスイートやふじを中心に輸出事業を展開しています。生産者や関係者が現地に赴き、販促会を積極的に実施することで、海外での朝日町りんごのブランド化に取り組みます。

(担当：農林振興課 農林振興係)



基盤整備事業が実施される能中地内の農地

三中元能中地区基盤整備事業負担金 266 万円

財源…町の借金 230 万円(公共事業等債)、町の負担 36 万円(一般財源)

不整形で休耕地が増えている三中元能中地区の農地については、担い手の集約、作業の効率化を目的に、平成 30 年度から 35 年までの計画で県営事業による基盤整備が進められています。

前年度に調査を終えた今年度は、改修工事の実施設計を行います。

(担当：農林振興課 農林振興係)



台湾のブロガー(情報の発信者)を招聘した町のPR

インバウンド観光商品開発

100 万円

財源…国の補助 50 万円、町の負担 50 万円(一般財源)

外国人旅行者の増により急速に拡大するインバウンド市場への対応として、現地の仲介業者やブロガーの招へいによる観光商品の開発、情報発信を通じて、外国人観光客の取り込みをめざします。

(担当：総合産業課 商工観光係)



町民の働く場を確保するための取組み 3,119 万円

財源…国の補助 25 万円、町の負担 3,094 万円(日本一りんごのふるさとづくり基金 3,000 万円、一般財源 94 万円)

町民の働く場を確保するため、産業立地促進奨励金等を通じた既存企業の支援や企業誘致等に取り組みます。

(担当：総合産業課 商工観光係)

まち【産業経済】

総額 3億 9,550 万円

(1) 農業

(単位：万円)

◇朝日町ブランドの代表である高品質なりんごづくりを続ける		
高品質りんご生産緊急対策補助		250
りんご輸出拡大対策補助		330
◇多様な果樹のまちとしての魅力を発信する		
チャレンジファーマー応援事業	増額	200
欧州系ワイン用ぶどう栽培支援事業		50
◇低コストで多様な農産品づくりを展開する		
施設園芸用ハウス等整備補助		105
ブランド米生産促進補助		90
◇安心して農業を続けていける人づくりを進める		
農業次世代人材投資事業		2,400
認定農業者農機具等支援事業		300
農業法人設立支援事業		100
◇将来性ある生産体制のための環境を整備する		
有害鳥獣対策		234
三中元能中地区基盤整備事業負担金	増額	266
中郷地区ため池改修工事負担金		770

(2) しごとの確保（商工業）

◇今ある企業や事業所のものづくりを応援する		
町民の働く場を確保するための取組み	増額	3,119
事業所の働き手確保に対する支援		130
◇今ある商店等の活性化を促す		
商工会指導事業、商店街活性化補助（商店街魅力創出チャレンジ事業ほか）		680
低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業	新規	4,670
◇やりたい仕事を始められる環境を整える		
創業支援対策、おためしサテライトオフィス事業		1,260

(3) 交流・観光

◇朝日町について学び、おもてなしに活かす		
観光総合パンフ、空気神社パンフ、観光ポスター制作		54
◇既存観光資源を整備し、活用を促進する		
朝日自然観大規模改修	新規	5,376
あさひ旅のココロ館広場改修	新規	200
◇既存団体との連携による観光振興		
町観光協会事業補助		755
◇広域連携により交流・観光の拡充とインバウンド推進につなげる		
インバウンド観光商品開発		100

2. ふるさとを愛し、みんなが学び合い、



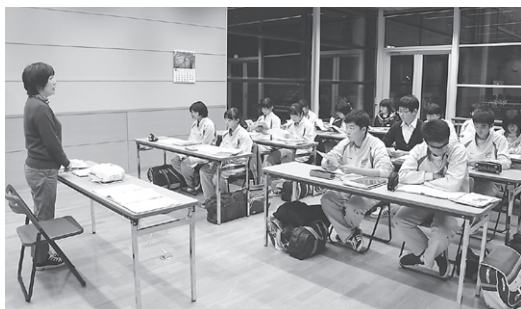
ミズノ株式会社の講師を招聘した走り方教室

ミズノ株式会社とのまちづくり提携事業 492 万円

財源…町の負担 492 万円(日本一りんごのふるさとづくり基金 200 万円、一般財源 228 万円、その他 64 万円)

町とミズノ株式会社は、官民連携による地方創生の取り組みとして平成 28 年度から提携事業を進めています。4 年目となる 31 年度は、これまで実施してきた健康・運動教室やマラソンイベント、講演会事業に加え、最終年度となる 32 年度を見据えた取り組みを展開していきます。

(担当：政策推進課 広報ブランド係)



あさひ英語学習会の様子

高校受験対策（あさひ英語、数学学習会の開催） 61 万円

財源…町の負担 61 万円（一般財源）

高校受験対策として学習塾に通う中学生が増える中、町内に学習塾がない当町では、すでに実施している「あさひ英語学習会」に加え、31 年度から「あさひ数学学習会」を開催します。志望校合格に向けた支援を充実させます。

(担当：教育文化課 学校教育係)



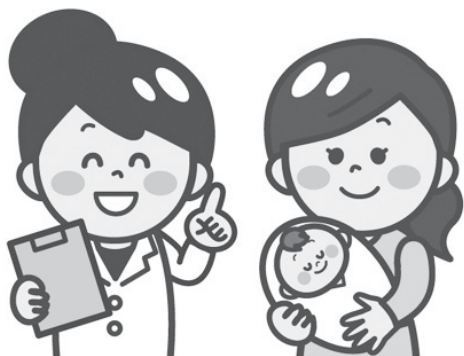
ALT(外国語指導助手) による授業

英語力向上の支援（ALT の増員） 1,106 万円

財源…町の負担 1,106 万円(日本一りんごのふるさとづくり寄付金 636 万円、一般財源 470 万円)

平成 32 年度の新学習指導要領全面実施に伴い、小学校における外国語の授業が増えることから、31 年度から ALT（外国語指導助手）を 1 人増員し、2 人体制とします。ネイティブスピーカーの英語に触れる機会を増やすことで、英語力や国際的感覚の向上に取り組みます。

(担当：教育文化課 学校教育係)



新生児聴覚検査費用助成 32 万円

財源…町の負担 32 万円（一般財源）

新生児の聴覚障害を早期に発見するための検査に対し助成を行い、出産、育児にかかる経済的負担の軽減を図ります。

(担当：健康福祉課 保健医療係)

育て合うまち【教育文化】 総額 8億 8,886 万円

(1) 子育て

(単位：万円)

◇出産・子育てに携わる人の健康を確保し、不安・負担を軽減する

高校生以下の医療費完全無料化	拡充	3,014
母子保健コーディネーターの配置（妊娠期から子育て期までのトータルサポート）		352
特定不妊治療費助成	増額	100
風しん対策（特定年齢層の抗体検査、予防接種費用補助）	新規	260
新生児聴覚検査費用助成	新規	32

◇地域ぐるみで子どもを健やかに育む居場所を作る

保育園等運営委託（あさひ保育園、子育て支援センター、放課後児童クラブ）		2 億 746
放課後子ども教室の実施		228
緑が丘公園整備事業（遊具、東屋設置）	新規	3,400

◇子どもや家庭を持つことの大切さを伝える

子育て総合支援事業（出産祝金、子育てガイドブック、ほか）		515
------------------------------	--	-----

◇結婚に向けた意識の醸成や出会いを増やして若者を応援する

結婚支援事業（仲人成婚奨励金、各種婚活イベントの開催、ほか）		149
--------------------------------	--	-----

(2) 学校教育

◇家庭・地域・学校が協働し、きらりとひかる学校・地域を作る

朝日町コミュニティスクールの推進		53
地域に誇れる小規模校支援事業		181

◇社会の変化に対応し、未来を拓く確かな力を持つ子どもを育てる

学習生活指導員、読書活動推進員、部活動推進員の配置	増額	1,602
中学生海外派遣事業		425
中学生の高校受験対策	拡充	61
英語力向上の支援（ALT の増員）	拡充	1,106

◇安全安心な教育環境づくりを推進する

小中学校へのエアコン設置	新規	1 億 9,440
大谷小学校複式学級工事	新規	450

(3) 生涯学習（スポーツ・文化）

◇潤いのある生活を楽しむ生涯学習を推進する

エコミュージアム推進事業（エコミュージアム 30 周年事業）	増額	227
朝日タカラモノガタリ改訂	新規	120
自治公民館の改修支援	増額	2,200
創遊館の大規模改修	新規	2 億 1,035

◇心身の健康を育む生涯スポーツを推進する

町民プール幼児用プール改修	新規	1,600
総合型地域スポーツクラブの運営		160
ミズノ株式会社とのまちづくり推進事業	増額	492

3. いつまでも健康に暮らせる、思いやり



町立病院の待合室

朝日町立病院運営補助

3億 4,110 万円

財源…町の借金 5,570 万円（過疎債）、町の負担 2億 8,540 万円（町有施設整備管理基金 510 万円、一般財源 2 億 8,030 万円）

地域医療の拠点である町立病院の経営安定のため、一般会計から補助を行います。31 年度については、病院事業会計で実施する施設改修に対し 5,570 万円、医療機器整備に対し 645 万円、その他国の基準に基づく金額を補助します。

（担当：総務課 財務係）



金婚祝賀会の様子

高齢者・障がい者の居場所づくり、生きがいつくり 1,998 万円

財源…町の負担 1,998 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金 145 万円、一般財源 1,853 万円）

町は、福祉バスの運行や敬老事業・長寿クラブへの補助、社会福祉協議会の運営の補助を実施し、高齢者や障がい者等、支援が必要な人と町民が助け合い、住み慣れた地域で生きがいを持って自分らしく暮らせる環境づくりに取り組みます。

（担当：健康福祉課 福祉子育て係）



元気クラブの活動（杉山区）

元気クラブ活動支援

154 万円

財源…町の負担 154 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

町は高齢者が地域のつながりの中で、気軽に集まって楽しく過ごせる活動を応援しています。お茶飲み会や健康教室、交通安全教室等、それぞれの地区で実施される介護予防活動の支援を通し、高齢者の健康づくり、生きがいつくりを行います。

（担当：健康福祉課 福祉子育て係）



病気の早期発見に向けた取り組み（各種検診の実施） 2,529 万円

財源…町の負担 2,529 万円（一般財源）

町は町民の皆さんに対し、毎年 1 回健康診断の受診を推進しています。朝日町国民健康保険の加入者は、平成 30 年度以降 20 歳から受診できるようになったほか、自己負担なしで特定健診を受けられるようになりました。生活習慣病等の予防・早期発見のため、健康診断は定期的に受診しましょう。

（担当：健康福祉課 保健医療係）

あふれるまち【健康福祉】 総額 9億 4,118万円

(1) 健康増進

(単位：万円)

◇健康づくりへの意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を防ぐ

心と身体の健康づくりの推進（各種健康教室、相談の実施）	753
病気の早期発見に向けた取り組み（各種検診の実施）	2,529

(2) 医療・福祉

◇充実した医療サービスが受けられる環境を整える

在宅当番医制、休日診療	215
朝日町立病院運営補助（地域医療基盤の維持・強化）	増額 3億 4,110
看護師等人材確保対策	180

◇高齢者、障がい者等が居場所づくりや相談体制を通してお互いに支え合う

高齢者・障がい者の居場所づくり、生きがいづくり	増額 1,998
元気クラブ活動支援	154
高齢者生産活動センターの運営	510

◇高齢者、障がい者等が仕事を通して生きがいを持って暮らす

高齢者の就労の場の確保	145
-------------	-----

◇高齢者が安心して暮らせる町民ニーズに沿った介護環境を提供する

要介護1・2の認定者に対する紙おむつ支給事業	210
介護保険事業の円滑な運営	1億 9,343



看護師等修学資金貸与事業 180万円

財源…町の負担 180万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

看護師、薬剤師を志し、将来朝日町立病院での勤務を希望する方に修学資金を貸与し、人材の安定的な確保を図ります。

貸与額は1ヵ月あたり5万円で、修学期間中は継続して貸与を受けられます。町立病院の人材確保が目的ですので、将来、町職員として同病院に勤務すれば、貸与金の返還が免除されます。

(担当：健康福祉課 保健医療係)



4. 豊かな自然を守り、安全で快適な住み



かさ上げ工事が進む町道雪谷線

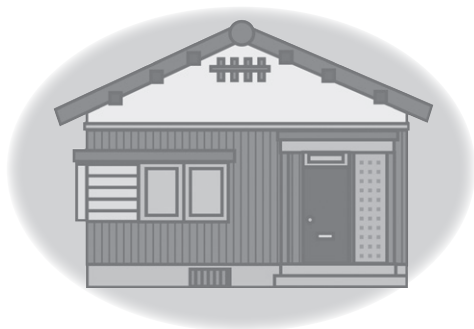
町道の新設改良

(三中線、一本松線、雪谷線、赤釜線、西町・西原線など) **1億9,186万円**

財源…国の補助4,856万円、町の借金1億3,260万円(過疎債等)、町の負担1,070万円(一般財源)

町道整備のうち、今年度は新規事業で紹介した一本松線、三中線、大谷中央線のほか、赤釜線、雪谷線の改良、西町・西原線の歩道設置事業に重点的に取り組めます。雪谷線、西町・西原線については32年度、赤釜線については33年度で完了の予定です。

(担当：建設水道課 整備係)



空家の利活用と適正管理

2,274万円

財源…国の補助685万円、町の負担1,589万円(一般財源)

年々深刻化する空家対策として、空き家バンクや改修補助金等で利用を促進するほか、空家解体補助を増額し、利活用と適正管理を推進します。空家バンクの運営は、外部からの移住相談窓口も含めた業務として31年度から民間委託し、適正管理と利活用に努めます。

(担当：総務課 危機管理係、政策推進課 総合政策係)



貸与される編み上げ靴

消防団装備品の更新(編み上げ靴等) **535万円**

財源…町の負担535万円(日本一りんごのふるさとづくり寄付金)

災害現場等における消防団活動の安全性、機能性向上を目的として、貸与する装備品(靴)を現在の半長靴及びゴム長靴から編み上げ靴に変更します(全団員分)。また、年次計画に基づき、安全帽(ヘルメット)および防火服を更新します。

(担当：総務課 危機管理係)



改修が進む清水ハイツ

町営住宅清水ハイツ大規模改修

2,222万円

財源…町の負担2,222万円(町営住宅使用料1,521万円、一般財源698万円、その他3万円)

民間事業者の立替施行により、平成30年度に着手した清水ハイツの大規模改修を継続します。完成は来年3月の予定です。

約1億6,000万円の事業費については、平成31年度から10年間で償還する予定です。

(担当：建設水道課 整備係)

よいまち【生活環境】

総額 5億 8,136 万円

(1) 住まい

(単位：万円)

◇住みやすく多様な住環境整備のための支援を行う

町営住宅清水ハイツ大規模改修	増額	2,222
持家住宅支援事業		3,709

◇空家の利活用と適正管理

空家の利活用と適正管理（空き家利活用補助・空き家解体補助等）	増額	2,274
--------------------------------	----	-------

(2) 交通

◇子どもから高齢者まで便利に出かけられる交通手段を充実する

山形市直行バス運行事業		1,380
デマンド型交通事業		2,374
町民の足確保対策（高校生・高齢者の山交バス利用負担軽減、利便性アップ等）	増額	813

◇道路環境の整備等により安全安心な交通環境をつくる

交通安全の推進（高齢者等免許返納助成、カーブミラー設置等）	増額	190
町道改良（一本松線、三中線、赤釜線、雪谷線、西町西原線、大谷中央線ほか）	増額	1億 9,186
舗装修繕計画に基づく修繕、側溝整備等		3,752
橋梁改修（猿渡橋）		2,400

(3) 環境

◇環境に対する意識を高めて、きれいな水と空気と緑を守る

環境意識の向上に向けた啓発活動		116
合併処理浄化槽の設置による水環境の保全		1,635
秋葉山周辺環境整備		150
大谷地区農業集落排水処理施設の改修		1,390
豊かな森林環境を守る取り組み（森林病虫害の防除）		105
経ヶ崎墓地通路修繕	新規	80

◇自然エネルギーの導入促進による資源の有効利用を推進する

太陽光発電設備、木質バイオマス燃焼機器導入補助		110
-------------------------	--	-----

(4) 防災

◇安心して暮らせる地域の防災体制を構築する

消火栓設置工事		700
消防団装備品の更新（編み上げ靴、安全帽、防火服）	新規	535
自動体外式除細動器（AED）の配備	新規	418

◇災害に備える基盤整備を進める

防災備蓄倉庫整備	増額	3,320
防災行政無線機能強化（屋外拡声子局増設、戸別受信機設置）	新規	1,450
備蓄品、衛星携帯電話の整備	新規	140

◇地域が協力し、雪を苦にしないで暮らす

除雪基地トイレ改修、除雪車庫屋根修繕	新規	550
--------------------	----	-----

5. 地域を思う一人ひとりがつながり、みんなで



集落支援員を交えた地域の計画づくり（中沢区）

地域づくりを話し合う場の確保と集落支援員等の配置 650 万円

財源・・国の補助金 130 万円、町の負担 520 万円（一般財源）

町内 55 集落の地域づくりを支援するため、集落支援員を 2 人配置します。地域づくりの第一歩は、そこに住む人たちの話し合いから。支援員とともに地域の魅力や悩み等を話し合うことで長所を伸ばすとともに短所を補う糸口を探り、地域づくりを支援します。

（担当：政策推進課 地域振興係）



地域活躍応援事業を活用した水路整備（ハツ沼区）

地域活躍応援事業（旧名称：地域提案型交付金） 1,995 万円

財源・・・町の負担 1,995 万円（一般財源）

地域の創意と工夫を生かした自治活動（雪対策、草対策含む）を交付金等で応援します。地域の課題となっている道路や水路、生活環境改善のためのハード事業のほか、新しい交流の場づくりや地域づくりの計画策定に取り組むソフト事業まで、幅広く支援します。

（担当：政策推進課 地域振興係）



基金を活用し整備した送橋神明こぶし太鼓隊の太鼓と衣装

志藤六郎村おこし基金事業 246 万円

財源…町の負担 246 万円（志藤六郎村おこし基金および利子 241 万円、一般財源 5 万円）

町内栗木沢出身の名誉町民・故志藤六郎氏からの寄付を原資として積み立てた基金を有効活用し、町を元気にする多様な取り組みについて、ハード、ソフト両面から支援します。

（担当：政策推進課 地域振興係）



ゲストハウス、交流の場としてにぎわう松本亭

移住・交流体験施設「松本亭一農舎」の運営 794 万円

財源…町の負担 794 万円（一般財源）

常盤地区の古民家を改装した「松本亭一農舎」は格安で宿泊できるゲストハウスとして旅行者や町に関心のある人たちから利用されているほか、町外の方々と町民との交流の場にもなっています。今後も施設を通じた交流の促進、町の活性化を図ります。

（担当：政策推進課 総合政策係）

支え合うまち【地域づくり】

総額 5,507 万円

(1) 地区づくり活動

(単位:万円)

◇地区の強みと弱みを分析し、地区の役割を明確にする地域づくり推進事業	
地域づくりを話し合う場の確保と集落支援員等の配置	650
◇地域の意欲を後押しする財政支援を行う	
地域活躍応援事業（旧名称：地域提案型交付金）	1,995
◇地区同士の連携を推進する	
区の枠組みを超えた地域づくりに対する補助	100

(2) まちのにぎわい・元気づくり

◇移住を受け入れる環境を作り、地区の活力を高める	
朝日町暮らし体験施設「松本亭」の運営	794
移住支援、UIJ ターン対策	709
同窓会助成事業	新規 20
◇地域課題を解決するための仕組みを作り、参加することでつながりを再構築する	
志藤六郎村おこし基金事業	246

新規
事業

卒業生同窓会



同窓会助成事業

同窓会の開催を支援することにより、町出身者と在住者、そして町がつながるきっかけづくり、さらには外部の力の取り込みによる地域活性化を目指します。

(1) 対象となる事業

町内の小・中学校を卒業した、満 39 歳以下の同窓会とし、次に掲げる要件の全てを満たすこと。

①町内で開催されるものであること。ただし、成人式と同日開催でないもの。②出席予定者が 20 人以上で、うち 3 割以上が町外に居住していること。③町が提供する資料等の配布及び周知を行うこと。④町が実施するアンケート調査に協力すること。

(2) 補助対象経費

補助対象者が同窓会を開催するために必要な経費とし、次に掲げるものとする。

①開催案内文書の作成や送付に必要な印刷製本費及び通信運搬費 ②町内の飲食店等に支払う開催経費

(3) 補助金の額

本補助金は、参加者一人につき 2,000 円とする。（上限 10 万円）。ただし、同一の同窓会への補助金の交付は、一年度に 1 回限りとする。

(担当：政策推進課 総合政策係)

■町民と行政が相互に信頼できるまち



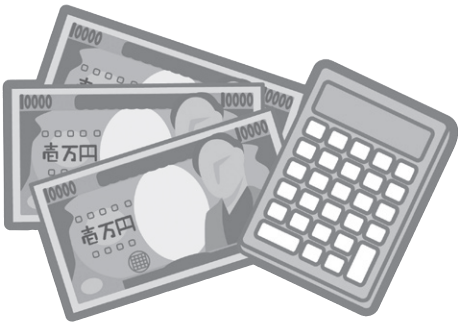
ワークショップで交わされるまちづくりの議論

第2次朝日町総合戦略策定 179万円

財源…町の負担179万円（一般財源）

地方創生の指針として平成27年度に策定した「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が31年度で最終年度を迎えることから、各指標達成に向けた総仕上げと評価検証を行うとともに、町民ワークショップ等により次期計画の策定を行います。

（担当：政策推進課 総合政策係）



町債の繰上償還 5,736万円

財源…町の負担5,736万円（減債基金）

近年、道の駅やロッジしらくら整備等の大型の建設事業が続いたことにより、公債費が著しく伸びています。創遊館の大規模改修や学校エアコン整備等、今後も大型事業が続くことから、町債の繰上償還を実施し、後年度負担を軽減します。

（担当：総務課 財務係）

ふるさと納税

町の発信と寄付額増に向け 予算増額、PR強化

町はふるさと納税でいただいた寄付金を「日本一りんごのふるさとづくり基金」に積立て、次年度以降の事業の財源として活用しています。

近年貴重な財源となっているふるさと納税については、国の指針を無視する一部の自治体の動向を受け、今後国が制度改革を予定しており、返礼品の割合や地元産品の定義が明確化される見通しです。

返礼品の割合を当初から3割と定め、寄付者とのつながりを大切にするなど、ルールを守りながら直近3年間継続して1億円規模の寄付をいただいていた当町にとっては追い風になることから、31年度はPRを強化し、より高い目標に向かって事業に取り組みます。

（担当：政策推進課 広報ブランド係）

■寄付金額（基金積立額）と取崩し額、年度末残高の推移

	20～24(合計)	25	26	27	28	29	30	31
寄付金額（基金積立額）	297万円	255万円	338万円	7,825万円	9,716万円	9,724万円	9,778万円	1億1,000万円
事業充当額（取崩し額）	-	196万円	-	-	5,700万円	8,103万円	8,519万円	1億3,676万円
年度末残高（※）	297万円	357万円	695万円	8,520万円	1億2,536万円	1億4,157万円	1億5,638万円	1億2,958万円

※年度末残高＝前年度末残高＋寄付金額（基金積立額）－事業充当額（取崩し額）。29年度までは決算額。30年度以降は見込額。

【まちの経営方針】

総額 2億 9,305 万円

(1) 町民と行政の協働

(単位：万円)

◇町民が主役となり、温かみのある行政運営を行う		
町民に親しみをもたれる役場づくりプロジェクト		21
第2次朝日町総合戦略策定	新規	179
◇地域で活動する人材を育成する		
つながりで育てる人材育成プロジェクト		230

(2) 行財政経営

◇歳入の確保と効率的な歳出執行を推進する		
役場庁舎等の長寿命化（第2庁舎修繕、駐車場柵線整備等）		649
ふるさと納税推進事業	増額	1億 7,885
町債の繰上償還	新規	5,736

(3) 高度情報化・広聴

◇情報発信などに新たな技術等を活用し、暮らしを便利にする		
地上デジタル放送難視聴地域解消事業補助	新規	110
◇町民と行政のコミュニケーションを促す環境づくりを進める		
議会だより電子化	新規	9

31年度日本一りんごのふるさとづくり基金活用事業 総額 1億 3,676 万円

朝日町のふるさと納税は使い道を6種類のメニューから選ぶことができます。いただいた寄付金を元にして31年度取り組む事業の総額は1億 3,676 万円。その一例を紹介いたします。

1. りんごとワインの里の産業・観光 3,500 万円 - 認定農業者農機具等支援事業 300 万円 - 創業支援事業補助金 400 万円 - Asahi 自然観大型草刈機購入 600 万円	2. ふるさとを愛し学び合う教育 4,205 万円 - 自治公民館整備事業補助金（大隅分） 2,000 万円 - 全国大会等激励金、部活動補助 210 万円 - 出産祝い品贈呈事業 147 万円
3. 思いやりあふれる健康な暮らし 755 万円 - デマンドタクシー機器更新 250 万円 - 看護師等修学資金貸与事業 180 万円 - 金婚式、白寿、米寿等敬老事業 100 万円	4. 自然と共生する安心な暮らし 1,617 万円 - 消防団編み上げ靴等更新 535 万円 - 防災備蓄品等購入 140 万円 - 高齢者等免許返納事業 80 万円
5. つながりを大切にしたい地域づくり 400 万円 - NEW アクション事業補助金 200 万円 - 自治公民館整備事業補助金 200 万円	6. 町長におまかせ事業 3,200 万円 - 産業立地促進奨励金 3,000 万円 - ミズノ株式会社との提携事業 200 万円

平成31年度 当初予算額（会計別総括表）

（単位：円、％）

区 分 会計の別		当初予算額		比較増減		
		平成31年度	平成30年度	予算額	率	
一 般 会 計		56億700万	50億6,200万	5 億4,500万	10.8	
		うち他会計からの繰入	0万	0万	0万	0.0
		うち他会計への繰出	6 億6,320万	5 億2,904万	1億3,416万	25.4
特 別 会 計	集落排水事業特別会計		7,330万	7,767万	△437万	△5.6
	うち一般会計からの繰入		1,555万	1,688万	△133万	△7.9
	国民健康保険特別会計		8 億3,650万	8 億4,080万	△430万	△0.5
	うち一般会計からの繰入		8,073万	8,552万	△479万	△5.6
	介護保険特別会計		10億4,350万	10億6,646万	△2,296万	△2.2
	うち一般会計からの繰入		1 億9,343万	1 億8,752万	591万	3.2
	うち一般会計への繰出		0万	0万	0万	0.0
	後期高齢者医療特別会計		8,860万	9,240万	△380万	△4.1
	うち一般会計からの繰入		3,006万	3,512万	△506万	△14.4
	うち一般会計への繰出		0万	0万	0万	0.0
企 業 会 計	病院事業会計	収益的収支	8 億186万	8 億152万	34万	0.0
		資本的支出	2 億5,774万	6,493万	1 億9,281万	297.0
		うち一般会計からの繰入	3 億4,110万	2 億8,528万	5,582万	19.6
	水道事業会計	収益的収支	1 億5,840万	1 億6,120万	△280万	△1.7
		資本的支出	7,580万	1 億1,800万	△4,220万	△35.8
		うち一般会計からの繰入	232万	408万	△176万	△43.1
総 額		89億4,270万	82億8,498万	6 億5,772万	7.9	
会計間のお金の出し入れを除いた正味の総額		82億7,950万	77億5,594万	5 億2,356万	6.8	

予算・決算等資料

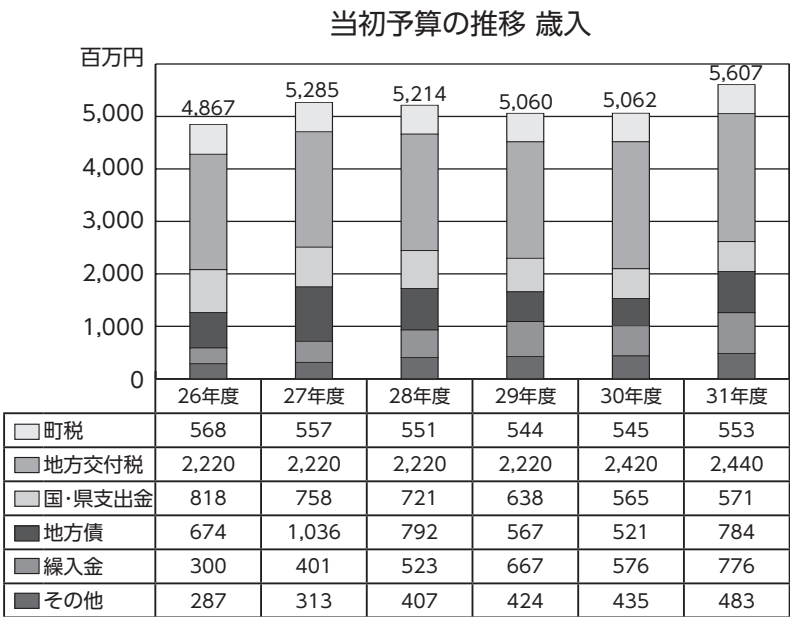
一般会計予算額（決算額）の推移

1. 一般会計当初予算の推移・概要

○平成31年度予算規模 **56億700万円**
(前年度比較5億4,500万円、10.8%の増)

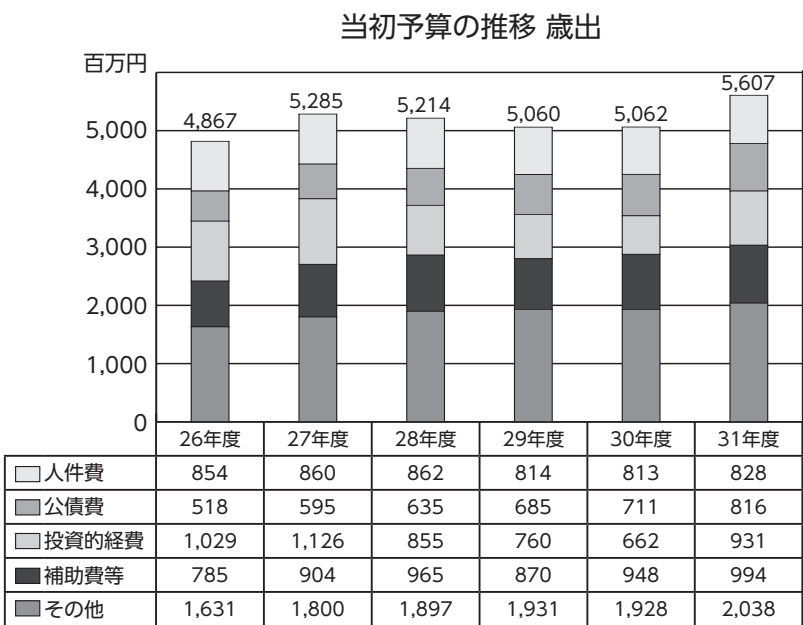
(1) 歳入の特徴

- ・町税：国有林野所在市町村交付金の増
- ・地方交付税：公債費算入分の増
- ・繰入金：日本一りんごのふるさとづくり基金、町有施設整備・管理基金繰入等の増
- ・町債：小中学校エアコン整備事業、創遊館大規模改修事業の増

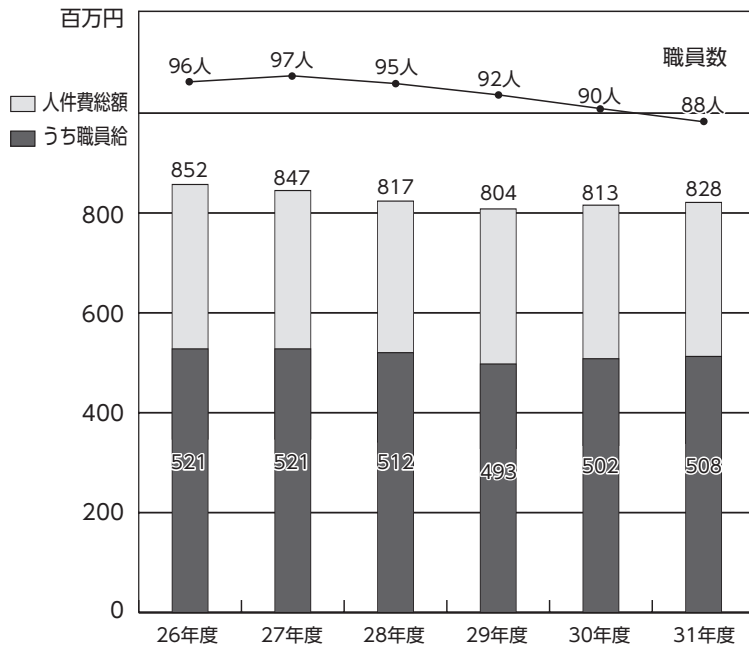


(2) 歳出の特徴

- ・公債費：過疎債（道の駅、和合地区都市再生整備事業）等の元金償還開始による増
- ・投資的経費：小中学校エアコン整備事業、創遊館大規模改修事業等の増、高齢者住宅建設事業等の減
- ・補助費等：町立病院の大規模改修にかかる病院事業会計への繰出し補助の増



2. 人件費、職員給、職員数の状況



人件費、職員給、職員数ともに、平成11年度をピークに減少が続いています。

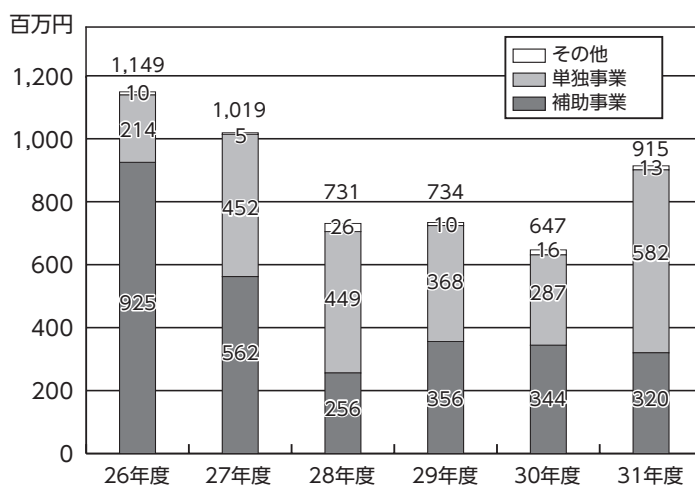
平成29年度までの4年間では職員の世代交代が進み、平均年齢が低くなったことから、人件費、職員給が大きく減少しています。

※平成11年度：人件費13億6,900万円、
職員給9億2,000万円、職員数149人

29年度までは決算、
30年度からは当初予算額

3. 普通建設事業（公共事業）の状況

普通建設事業の推移

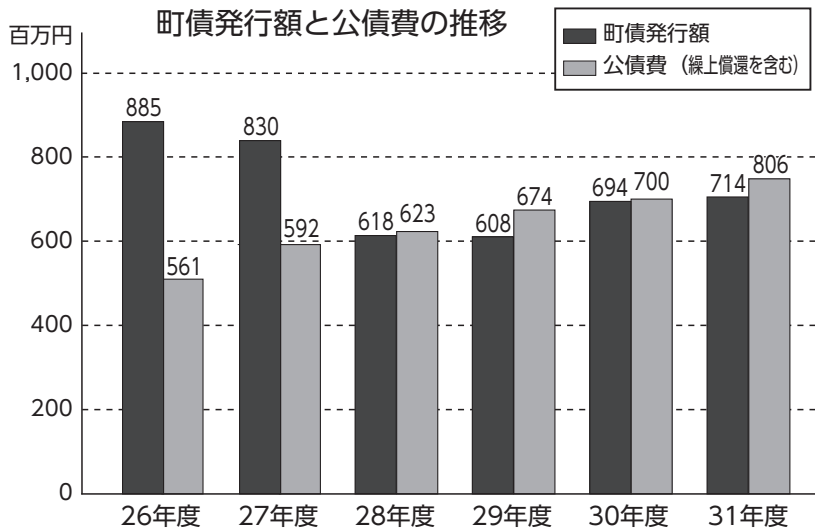


平成20年度以降、あさひ保育園整備（20～21）、小学校体育館改築（22～24）、総合交流拠点施設（道の駅）整備（24～27）、防災行政無線整備（27）、和合地区都市再生整備事業（24～28）等の大型事業を断続的に実施してきました。

28年度以降、一時的に落ち着いたものの、31年度は小中学校エアコン整備事業や創遊館の大規模改修事業等を実施することから事業費が膨らんでいます。

29年度までは決算、
30年度からは当初予算額

4. 町債発行額と公債費の状況



※29年度までは決算、30年度以降は見込み（※決算統計のルールに基づく）

■町債発行額（借金額）

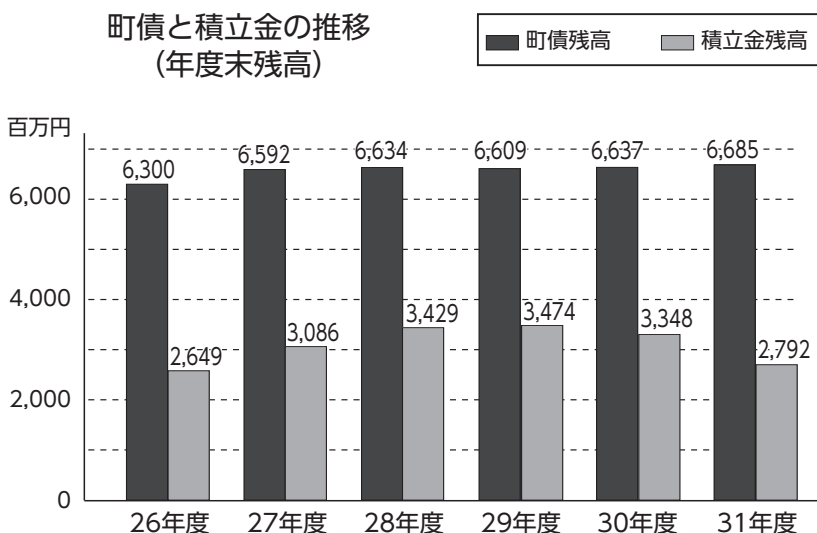
町債については、和合地区都市再生整備事業や道の駅、ロッジしらくら整備等、大型建設事業が相次いだことにより、26年度、27年度の発行額が多くなっています。28年度、29年度は一時的に落ち着いたものの、30年度以降、国の補正予算に伴う小中学校エアコン整備事業や創遊館、Asahi自然観などの大規模改修を実施することから増えています。

■公債費（借金返済額）

公債費については、平成15年度の12億4,900万円をピークに減少してきましたが、平成25年度の5億4,400万円を底にして、26年度以降再び増加に転じています。あさひ保育園や小学校体育館改築で借り入れた町債の償還開始によるものです。

その後も、和合地区都市再生整備事業や道の駅、ロッジしらくら整備等大型建設事業の償還が順次始まったことにより増加が続いています。30年度以降は7億円を超える見通しです。

5. 町債残高と積立金残高の状況



※町債残高は決算統計より。積立金残高は奨学金の貸付金、特別会計分含む。

※29年度までは決算、30年度以降は見込み

■町債（町の借金）

29年度は前年度比微減となりましたが、近年の推移をみると増加傾向にあります。学校体育館・役場庁舎の耐震化や道の駅、ロッジしらくら整備等の大型事業が相次ぎ、多くのお金を借りたことが要因です。

■積立金（町の貯金）

将来的に見込まれる公共施設の大規模改修に備えて、近年は町有施設整備・管理基金や町営住宅建設維持管理基金に積極的な積立てを行ってきました。

平成31年度については、大型事業や繰上償還の財源として取り崩し額が多くなるため、大きく減少する見込みです。

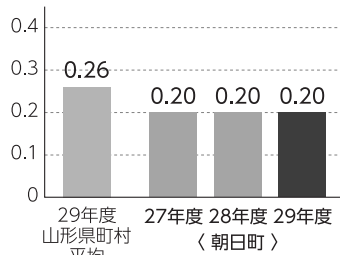
6. 財政指標で見る町の財政状況

町の財政状況は健全化判断比率※をはじめとした様々な指標により客観的に分析することができます。こうした指標を過去3年間の推移や県内町村との比較で分析します。

😊 … 良い
😞 … 良くない

■ 財政力指数 (自前の収入でやりくりできるか)

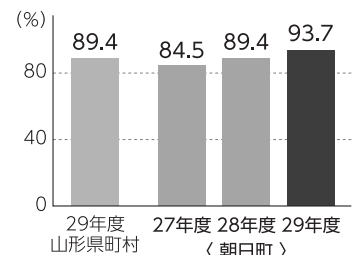
他自治体と比較して、当町は必要な経費を自主財源で賄える割合が低いことがわかります。町民税や固定資産税等の町税収入が少ないことが主な要因です。



自治体経営に必要なお金を実際の収入で割った値(3カ年の平均値)で、数値が大きいほど余裕がある。

■ 経常収支比率 (自由に使えるお金があるか)

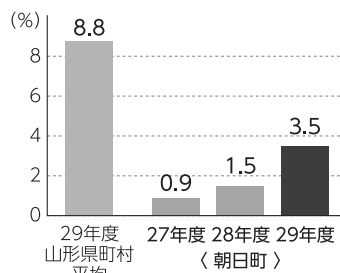
2年連続で大幅上昇となりました。近年相次いだ大型事業で借りたお金の返済費用(公債費)や、病院経営を支える補助金の増額が主要因です。



毎年度ある収入に対して、必ず行う支出の割合を示したもの。数値が低いほど柔軟に事業に対応できる。

■ 実質公債費比率 (借金返済に窮していないか)

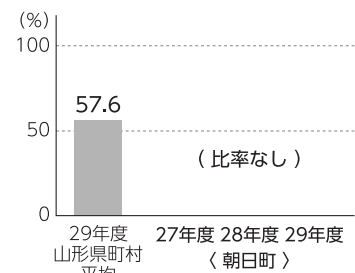
2年連続の上昇となったものの、良好な水準を維持しています。借金は増えているものの、返済費用の一部が地方交付税に算入される制度を有効活用しているためです。



一般会計の公債費(借金返済費用)が重すぎないかを見る指標。3カ年の平均値で算定。数値が低いほど良好。

■ 将来負担比率 (将来世代にツケを先延ばしにしていないか)

前年度に続き、比率はありません。借金(町債)等の将来負担額よりも、貯金(積立金)や将来地方交付税で算入される見込みの金額の方が多いためです。



一般会計の町債(借金)や、将来支払う可能性のある他会計負担金の程度を指標化したもの。数値が低いほど良好。

※健全化判断比率 … 実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4指標の総称。公営企業の経営健全度を表す資金不足比率とともに、毎年議会への報告と公表が義務付けられています。実質公債費比率、将来負担比率以外の3指標については、県内すべての市町村で比率がありません。

今後の取り組み

実質公債費比率、将来負担比率は健全段階を維持しているものの、近年の大型事業により町債(借金)残高が増えています。それに伴って公債費(借金返済費用)が増え、経常収支比率の著しい上昇につながっています。

今後も、小中学校へのエアコン整備や公共施設の大規模改修等大型建設事業が見込まれます。実施に当たっては、各種基金の有効活用で町債発行を抑制しながら健全財政の維持に努めていきます。

平成31年度 朝日町予算説明書

山形県朝日町